

## 金属補修用エポキシパテ S-8201

### (1) 特 長

1. 主剤と硬化剤が一体となっているため、必要量だけカットして使用できます。
2. 乾燥面はもとより、湿潤面においても強力に接着可能です。
3. 温度依存性が小さく、一年中作業性が良い。
4. 硬化速度が速く、施工初期に強度が出ます。
5. 低温時の硬化性が優れています。

### (2) 用 途

1. 金属、コンクリートの欠損部の補修
2. 金属、コンクリート、モルタル、プラスチックの接着
3. 電気、ガス、空調配管とコンクリート部空隙の充填



### (3) 使用方法

1. 使用する箇所のゴミ、油分、レイタンス（コンクリート）、錆、塗装（金属）等をきれいに取り除き有機溶剤等で脱脂します。
2. 主剤（白色）および硬化剤（青色）が一体となっているので、ナイフ・はさみ等で必要量を切り取ります。



3. 水をつけながら均一になるまで良く混合し、可使時間内に使用します。



### (4) 使用上の注意

1. 充填材に炭酸カルシウムを使用していますので、硬化物に直接酸がかかる用途には使用を避けて下さい。
2. 5℃以下での使用は避けて下さい。
3. 硬化後は-20℃～100℃の範囲で使用してください。
4. 毒性はほとんど無くしてありますが、アレルギー体質の人はかぶれることがありますので取扱を避けて下さい。
5. 皮膚に付着した時は、よく石鹸等で洗い落として下さい。

(5) 荷 姿

段ボールケース 200g×10セット入

(6) 性 状

	主 剤	硬 化 剤
主 成 分	エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン
外 観	白色パテ状	青色パテ状
	水色 (硬化後)	
配 合 比	100g : 100g	
密 度	1.96 g/cm <sup>3</sup>	1.96 g/cm <sup>3</sup>
可 使 時 間 (100g)	15分	

(7) 硬化時間

	25℃	5℃
可 使 時 間	30分	70分
Set to Touch *1 (指 触 乾 燥)	75分	80分
Dust Free *1 (半 硬 化)	2時間20分	3時間
Dry to Touch *1 (硬 化)	2時間50分	9時間
完 全 硬 化	4日	7日

\* (株)安田精機製作所製RCIドライイングタイムレコーダーを使用(接着剤中クリアー成分で測定。)

(8) 物理強度 (JIS K6911)

	25℃			5℃		
	1日	3日	7日	1日	3日	7日
引張強度 (MPa)	10.79	13.73	15.01	3.43	9.32	13.24
曲げ強度 (MPa)	14.72	25.51	32.37	2.06	7.65	18.54
圧縮強度 (MPa)	49.05	51.01	52.97	15.70	24.53	29.53

(9) 接着強度—引張せん断接着力 (JIS K6850)

引張せん断接着力 (MPa) 鋼板/鋼板	8時間		16時間		1日		3日		7日			
	25℃		7.55		10.20		10.30		10.30		10.20	
	5℃		—		5.40		5.69		6.38		6.67	

(10) 接着強度—引張付着力 (建研式、25℃、7日)

	乾燥コンクリート	湿潤コンクリート	水中コンクリート
引張付着力 (MPa)	2.75	2.45	2.35
対コンクリート	コンクリート破壊	コンクリート 表面破壊	コンクリート 表面破壊